



外川 善正 議員

愛荘町公共施設個別施設計画の進め方は

Q 第2次愛荘町総合計画などとリンクできているか

A 関連する他の計画と連携し、整合性を図っている

問 公共施設（建物）個別施設計画を推進していくなかで、その上位にあたる第2次町総合計画や、公共施設等総合管理計画などを含む他の計画との考え方や、かわりについて連携しているのか尋ねる。

答 （総務担当政策監）平成30年度に策定した第2次総合計画は本町のまちづくりの最上位計画であり、まちづくりの基本的目標を示す基本構想と、その実現のための施策を体系的に示した基本計画の二層構造で構成している。

この総合計画の基本構想において、様々な施策を推進していくにあたって、まちづくりの基本推進施策を定めており、この計画に基づき、公共施設等総合管理計画および個別施設計画を定めて位置づけとしており、他の計画と連携させている。

問 2町合併時に計画された新町まちづくり計画は、多くの項目が総合計画に反映されている一方、まったく記述されていないものもあ



瀧 すみ江 議員

健康元気もりもり教室

Q 事業内容の変更をしないことを求める。

A 自主活動グループの展開を推し進めるため、変更する

児童保育

問 各小学校内にある4学童保育所と愛荘町小学校区学童保育所（やすらぎ）については、4月から「シダックス大新東ヒューマンサービス（株）」が一括して指定管理を受け、運営することになった。初めての取り組みである。また、ラポール秦荘けんこうプールにはスポーツ学童があり、「プールの指定管理者（株）リンクワークス」が運営している。これについて次の質問をする。

- ① それぞれの2年度の入所人数と待機児童の状況。
- ② 障害児入所の受け入れ。
- ③ 2年度の「支援員・補助員の体制や常勤・パートの体制」に対する考えを求める。
- ④ シダックスが管理運営する5学童保育所において、今までの保護者会運営と比較してどこが変化するのか。
- ⑤ 町として、保護者の意見をどのように吸い上げるのか。
- ⑥ 学童保育の目的「子どもの健全な育成」のために、町が責任を持って会社と密接に関わることを求める。

子ども支援課長

① 愛知川小学校区学童保育所が60人、愛知川東小学校区学童保育所が53人、秦荘東小学校区学童保育所が28人、秦荘西小学校区学童保育所が26人、愛荘町小学校区学童保育所が40人、スポーツ学童保育所が21人で、合計228人。待機児童はない。

- ② 受け入れを行っている。
- ③ 支援員・補助員の体制は、1クラスにつき2人以上の配置をされることになっており、シダックスが直接雇用する。常勤かパートかの雇用形態は、面接を行い希望を聞きながら調整していくと伺っている。町は、シダックスを指導・監督する。
- ④ 保護者負担が軽減される。おやつ・活動のカリキュラムなど基礎的な内容について統一が図られる。支援員・補助員研修の充実によりサービスの質の向上に取り組んでもらう。支援員・補助員の人員確保の対応ができる体制がある。さらに、シダックスのノウハウを生かした運営が期待できる。
- ⑤ 指定管理に関する協定書で利用者アンケートを実施し、

地域共生社会

問 地域共生社会における行政の役割についての見解を求める。

答 （福祉課長）福祉施策の充実を図りつつ、制度の狭間で対応できないケースなどをケアできる体制整備に、取り組んでいかなくてはならない。そのためには町全体・中学校区・各自治体・より身近な場所など重層的なケア体制を構築していく必要がある。住民の福祉活動をサポートしていきたい。

健康元気もりもり教室



健康元気もりもり教室

問 健康元気もりもり教室は、気軽に行け介護予防になる取り組みだが、2年度から開催日が週5日から週3日、開催場所は5施設から2施設、無料から1回100円の受講料になる。このような事業内容を変更をしないことを求める。

答 （福祉課長）地域コミュニティにおける仲間づくり・健康づくりを通じて、生きがいと居場所に重点をおいた自主活動グループの展開へと進めていきたい。

問 その一つに新町の整備には特定地域に偏ることなく全体のバランスに配慮する。また、公共交通の充実などが明記されているにもかかわらず、総合計画にも関連する計画では記述されていない。

答 （町長）この個別施設計画を進めていくことも必要であるが、町の将来を見据え30年、40年先の町の大きな構想を提示するなかで、本計画を進めるべきと思うが、町長の考えを尋ねる。

答 （町長）総合計画は町全体を視野に入れて策定しており、個別施設計画は住民・団体・有識者に入ってもらい町有施設全体をどのようにしていくかというところで策定しているものである。

この総合計画を踏まえたなかで個別施設計画の具体化に向けて、庁舎等あり方検討委員会に諮問しているところである。

問 グランドデザイン構築に向けて検討している事項が、個別施設計画の策定を大きく左右させることはあるのか尋ねる。

答 （町長）グランドデザインの構築は、まちの将来像を実現すべく、次なる時代を見据えた新たな魅力ある都市構造を創造し、将来ビジョンの見える化を行い、新たなまちの方向性を共有することを目的としている。そのため両者は、その狙いや目的、検討対象を異にするものであり、単純にその関係性を比較することは困難であるが、一般論としては新たに計画を作成する場合は、既存の計画等との整合性を図りつつ行うことが必要である。

問 個別施設計画を推進していく過程で、考え方のすべてを整理して町民への説明をするのかどうか。

答 （副町長）庁舎等のあり方検討委員会において、具体的方向性が定まっていなかった公共施設を対象

に順次検討する予定であり、検討委員会の資料や協議概要などの検討過程についても町ホームページ等に掲載するとともに検討状況を踏まえながら、住民への説明についても検討する。

